

<第4482回>

目的地：生石ヶ峰（紀北）

担当者：熊谷

実施日：2024年4月21日（日）

形式：日帰りハイキング

費用：¥6,510（JR天王寺駅起点）

参加者：2名

天気：雨

行程：

JR 海南駅(9:07)＝(タクシー)⇒(9:40)小川八幡神社(9:54)→(10:33)大観寺(10:41)→(10:58)梅本(11:05)→(11:43)立岩不動分岐(11:48)→(12:12)生石高原・山の家おいし[昼食](13:05)→(14:14)大観寺(14:28)→(15:07)小川八幡神社(15:10)→福井峠→(16:09)登山口バス停(16:40)＝(大十オレンジバス)⇒(17:10)JR 海南駅[解散]

感想：

当日は、降水確率は高かったものの、15時までの降水量は0mmだったため、なんとかかなかなと期待していましたが、行きの海南駅までの電車乗車時には既に雨が降っていました。海南駅から予約していたタクシーに乗り、登山口の生石ヶ峰を目指します。ところが、タクシーのカーナビの生石ヶ峰の表示位置がおかしかったため、少し道間違いをしてようやく到着しました。雨が降っていたため、建物の軒下でカッパを着て、傘をさして出発。とても蒸し暑かったので、途中で衣類調整しました。大観寺に到着すると雨も霧雨程度となり、以降涼しくてとても快適に歩くことができました。雨で湿った山道をサワガニが元気に歩き回り、道のすぐ脇ではカエルが大きな声で鳴いていました。さらに進むと多くのテンナンショウに出会いました。雨が降ると生き物がとても生き生きしているように感じました。鳥の声を聞きながら気持ちよく登っていると、別荘が見えてきて、いよいよ生石ヶ峰の一角です。国民宿舎生石ヶ峰山荘の廃墟をすぎ、もうひと登りすると、開放感のある高原の車道に出ました。高原に出たとたん、まわりはガスで真っ白で視界はありません。12時すぎお腹も空いてきたので、生石ヶ峰の稜線直下にある「山の家おいし」で休憩することとしました。地元の人以外にお客さんもいなかったため、ここで昼食をとらせていただきました。雨が強くなってきたりしたので、ここでのんびり過ごして、ガスが晴れるのを待ちましたが、雨はほぼやんだものの、あいかわらず視界は真っ白で、強風も吹いていたため、生石ヶ峰の稜線まで出て確認したのち、生石ヶ峰山頂は断念して、もときた道を引き返しました。下り始めるとガスはすぐになくなり、道も落ち葉でフカフカでとても歩きやすかったです。途中少し離れたところにある棚田をながめたりしながら登山口の生石ヶ峰山荘に戻り、少し先の小川郷直売所に立ち寄りしましたが、売り切れで商品は全くなかったです。さらにもうひとふんばり福井峠を越えて、バス停のある「登山口」まで歩きました。ここは、平成6年まで営業していた「野上電鉄」の終着駅で、現在は野上電鉄の代替バスであるオレンジバス、紀美野町コミュニティバスが発着しています。ここの周辺も店はなかったため、ほどなくして到着したバスに乗り海南駅に戻りました。

特記：

小川宮登山口のトイレは小川八幡神社近くのものを取り壊されてなくなりましたが、神社から少し下った生石ヶ峰登山口駐車場にありました。